

教員氏名	山下玲香	職位	准教授
最終学歴	愛知教育大学大学院教育学研究科(博士課程)共同教科開発学専攻 単位取得退学		
学位	修士		
役職		委員会	教務委員会
担当科目	「キャリアデザインⅠ」前後期 水曜日、1時間目 「教養演習Ⅰ」前後期 水曜日、2時間目 「遊びと運動」前期 木曜日、1時間目 「野外活動論」前期 火曜日、2時間目 「人間と健康」後期 金曜日、3時間目 「人体の科学」後期 金曜日、2時間目 「キャリアデザインⅡ」後期 水曜日、2時間目		
教科書・教材・教育方法の実践例			
教育研究業績	1. 教科学を創る 第2集 「第7章 子どもの体力向上の取り組み」 愛知教育大学教科学研究会 愛知教育大学出版会、愛知 2. オリンピック準強化選手の合宿サポート、平成19年度「ジュニア水泳の育成に関わる科学支援事業」報告書、3-6頁、2008.3 3. 競泳選手における水分代謝の日内変動と身体活動量の関係、愛知教育大学保健体育講座研究紀要第35巻、33-38頁、2011.3 4. 文部科学省新体力テストのソフトボール投げにおける「巧緻性」の再考、愛知教育大学保健体育講座研究紀要第37巻、1-6頁、2013.3 5. 小学校体育科への伝承遊び導入について：子どもたちの直面する様々な問題との関わりから、愛知教育大学教育創造開発機構紀要3、19-25頁、2013.3 6. インクルーシブ教育システム構築に向けての教員養成の在り方に関する一考察、愛知教育大学障害児教育講座障害者教育・福祉学研究10号、63-74頁、2014.2 7. 体力向上の取り組みの実践から見た子どもの体力低下に関する一考察、愛知教育大学教科開発学論集2、185-191頁、2014.3 8. 子どもの体力向上を目的とした運動系伝承遊びの学校教育への導入—学校・家庭・地域をつなぐ、愛知教育大学保健体育講座研究紀要第38巻、27-30頁、2014.3. 9. 雪上キャンプにおけるイグルー内の環境に関する調査研究—、日本キャンプ協会キャンプ研究1、1-5頁、2014.3 10. 幼児期の生活状況が学童期の運動能力に及ぼす影響、名古屋短期大学研究紀要52巻、91-96頁、2014.3		

	<ol style="list-style-type: none"> 11. BMI および運動習慣の違いが腹部脂肪蓄積量に及ぼす影響、愛知教育大学保健体育講座研究紀要第 40 巻、23-28 頁、2015. 3 12. 超音波法を用いた幼児の腹部体脂肪の評価、人間—生活環境系学会人間と生活環境第 22 巻、第 2 号、103-110 頁、2015. 11 13. 子どもの運動意識とそれに及ぼす男女差と学年差の影響、日本発育発達学会発育発達研究第 71 号、1-8 頁、2016. 5 14. 子どもの運動に対する小学校教師の意識、愛知教育大学障害児教育講座障害者教育・福祉学研究 13 号、107-116 頁、2017. 3 15. ゴム跳び遊びをとりいれた休み時間の活動が小学校 4 年生の運動意識に及ぼす影響、こども環境学研究 13 号 (3)、53-60 頁、2017. 12 16. 児童の休み時間の利用・過ごし方と行動様式の関連、愛知教育大学障害児教育講座障害者教育・福祉学研究 14 号、29-36 頁、2018. 3 17. 6 ゴム跳び遊びを取り入れた休み時間の活動が小学 4 年生の運動意識に及ぼす影響—遊びの選択制と性差の観点からの分析—、こども環境学研究 14 号 (2)、81-88 頁、2018. 8 18. 運動と伝承遊びの欲求が運動意識に及ぼす影響、名古屋短期大学研究紀要、2019. 3 19. 目標物設置による幼児の投球動作と投距離の変化、体育の科学 70(7)、2020. 7 20. 女子高等教育期間における野外教育の意義—社会人基礎力に着目して—、名古屋短期大学研究紀要、2021. 3 21. 大学体育の対面授業と遠隔授業に対する女子大生の意識、名古屋短期大学研究紀要、2022. 3 22. 女子大学生を対象とした組織キャンプの実践と学内キャンプの展望、名古屋短期大学研究紀要第 61 号、2023. 3
所属学会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本体力医学会 2. 日本体育スポーツ健康学会 3. 日本発育発達学会 4. こども環境学会 5. 日本キャンプ協会